令和４年度　隠岐高等学校　学校評価書

A：十分に達成できている状況　B：概ね達成できている状況　C：どちらかといえば達成できていない状況　D：ほとんど達成できていない状況

＊肯定的意見の割合＝総数に対する肯定的意見[そう思う・どちらかといえばそう思う]の割合（%）、回答のうち「わからない」は除く

教育目標	重点目標	学校評価実施項目	学校評価質問項目：教職員	学校評価質問項目：生徒	学校評価質問項目：保護者	アンケート結果[肯定的意見の割合(%)]：教職員 R4	教職員 R3	生徒 R4	生徒 R3	保護者 R4	保護者 R3	評価 75%以上：A 60%以上：B 59%以下：C R4	R3	自己評価：取り組み状況と課題（■）、改善策等（○）	学校関係者評価：評価	学校関係者評価：意見
健康で、確かな学力を持ち、自立する生徒を育成する～現在と未来の隠岐を支える人材の育成～	生徒の主体的な学びを基盤にした学力の強化	①学力の向上（教務部）	プロジェクター等のICT機器を用いて、生徒の理解を深める学習活動が行われていると思いますか。	プロジェクター等のICT機器を用いて、生徒の理解を深める学習活動が行われていますか。		97	100	91	96			A 94	A 98	■すべての授業においてICT機器を工夫して活用している。今年度１年生から１人１台端末（chromebook）導入に伴い、今後より一層学習活動や学校生活のなかでICT活用の場を広げていく必要がある。 ○ICT機器を用いた学習等を充実させるため、研修会を実施したり効果的な活用方法を教科間で共有する。	A	①学力の向上について ・ICT機器を工夫して活用し学力向上に繋げている。 ・ICT機器の利用はあくまでも手段である。学習効果を高める長所を活かして学習活動の向上を図るためであり、それによって教育の本質がぼやけてはならない。 ③読書活動について ・様々な取り組みにより図書館の利用や本の貸出数の増に繋げている。 ・教職員と保護者生徒の評価の乖離が気になる。 ・生徒が何を求めているのか気になる。読書は学力向上だけでなく、人生の幅を広げる上で重要な行為である。引き続き生徒や保護者の評価が上がるよう継続した取組をお願いしたい。 ・図書委員会で数値目標を設定し、読書を促す取組を継続してほしい。利用量（貸出・学習利用）を図書館だより等で提示し、全校をあげた取組にしてはどうか。生徒が本に親しむ下地となれば良い。 ・紙媒体（書籍）と電子媒体（１人１台端末）を上手く併用してほしい。 ○その他 ・質問項目にSDGsを加えてはどうか。
		②家庭学習（教務部）		各教科で出される課題は基礎学力を定着させるのに適切なものですか。	各教科で出される課題はお子様の基礎学力を定着させるのに適切なものですか。			88	94	87	92	A 88	A 93	■各教科からの課題は、課題の取り組み状況や評価アンケートから判断して概ね適切であると考える。 ○生徒の学習意欲を高め、基礎学力を定着させるために、授業の様子や課題の取り組み状況、進路に合わせた学習の仕方等について学年会や教科間で情報を共有する。また、学ぶことと自分の将来のつながりを意識させながら、社会への移行を生徒たちが自分のこととして捉え、自己管理能力を高めながら計画的に将来の夢や希望の実現が図れるように支援する。		
		③読書活動（教育研究部）	企画展示（出張図書館など）や図書館だより、図書館を利用した授業などは、本に親しむことや図書館利用向上につながっていると思いますか。	企画展示（出張図書館など）や図書館だより、図書館を利用した授業などは、本に親しむことや図書館利用向上につながっていますか。	企画展示（出張図書館など）や図書館だより、図書館を利用した授業などは、お子様が本に親しむことや図書館を利用することにつながっていると思いますか。	92	70	58	54	66	70	B 72	B 65	■総貸出数は前年度より１．８倍増加した（生徒は１．１倍増加）。 ■校内３箇所の出張図書館の展示を月１回更新した。また、図書館前廊下や図書館内に授業成果物を展示した。 ■地域の方々を対象とした図書館開放日（６回）を新設し、有木小学校等から複数回の来館があった。 ■尼寺原祭展示とクリスマスフェアを図書委員会が行った。 ■国語、英語、総合的な探究の時間等授業での図書館活用が増えた。 ○保護者面談日や授業公開日等で保護者にも図書館の様子や展示物に触れる機会を提供する。 ○生徒の図書館利用につながる取り組みを継続する。		
	進路指導とキャリア教育の充実	④進路実現（進路指導部）（学年部）	模試や各種検定試験、土曜補習は、進路実現のための学習意欲向上や学力向上につながっていると思いますか。	模試や各種検定試験、土曜補習は、進路実現のための学習意欲向上や学力向上につながっていますか。	模試や各種検定試験、土曜補習は、お子様の進路実現のための学習意欲向上や学力向上につながっていると思いますか。	81	85	81	79	89	88	A 84	A 84	・土曜補習について（進路指導部） ■自律的学習者を育てるという視点から、一律の時間割で、同じレベルの問題に全員が取り組むというやり方は、見直す必要がある。 ○家庭学習の充実と授業改善について、さらに考えていくべきであり、例えば全学年が利用可能であるClassiの活用や、今年度入学した１年生から導入された１人１台端末の環境を活かした課題の在り方等を検討し、個別最適化を図る。また、生徒自身が自分に必要な学習は何かを考えて行動できるようにする。 ■生徒は家庭や地域の一員でもあるが、土曜日の過ごし方を自由に決めにくい。 ○実施するか否か、全員参加か希望制かなど、現在検討中である。積極的に社会と関わろうとする生徒を支援できる体制を検討する。 ・模試について ○概ね良好ではあるが、模試を受けるだけでなく、復習する機会を継続して設け、学力を向上させる。（学年部）	A	④進路実現について ・教員の働き方改革と相反する取組のようにも見えるが、やる気のある生徒には、目標達成に向け寄り添ってほしい。 ・生徒のレベル差がある中での補習は大変だと思うが、学力定着のため継続してほしい。 ・補習の方法に改善が必要である。 ・進路指導は進学や就職だけでなく、人生を見据えたものでありたい。具体的には「どんな人間になり、どんな人生を送るのが幸福につながるのか？」を基本に、そのために「どんな仕事をするのか」（職場社会）、「どう地域と関わるか」（地域社会）、「どんな家庭を築くか」（家庭社会）を考えていくことが肝要に思う。①で述べた「教育の本質」と深い関わりがある。 ⑤キャリア教育について ・進路ガイダンスの改善等より良い方法を検討してほしい。
		⑤キャリア教育（進路指導部）（教育研究部）	進路講演会（３年）や進路説明会（進路ガイダンス）、放課後先生（有木小との連携）、隠岐ジオパーク研究発表会（２年）、キャリア探究（ジオパーク研究、ＨＲ）、関西研修旅行などのキャリア教育は、生徒の自己実現を支援するものとなっていると思いますか。	進路講演会（３年）や進路説明会（進路ガイダンス）、放課後先生（有木小との連携）、隠岐ジオパーク研究発表会（２年）、キャリア探究（ジオパーク研究、ＨＲ）、関西研修旅行などのキャリア教育は、自己実現を支援するものとなっていますか。	進路講演会（３年）や進路説明会（進路ガイダンス）、放課後先生（有木小との連携）、隠岐ジオパーク研究発表会（２年）、キャリア探究（ジオパーク研究、ＨＲ）、関西研修旅行などのキャリア教育は、お子様の自己実現を支援するものとなっていると思いますか。	92	85	86	86	93	92	A 90	A 88	・進路講演会について ■どのような分野で活躍している方に講師を依頼するのか、学年ごとの状況を踏まえて判断する必要がある。 ○生徒が将来に対して、あるいは現在の自分の在り方についてどのような不安や悩みを抱えているのか、また期待をしているのかを進路学習等を通して記入してもらい、把握しておく。 ・進路ガイダンスについて ■講義形式であり、生徒が主体的に参加できにくい。 ○ねらいを生徒に明確に伝え、事前学習の機会を確保したうえで参加できるようにする。 ・隠岐ジオパーク研究発表会等（教育研究部） ■地域の方々や教職員のサポートにより高評価を得た。 ○取り組みを深化させ、継続する。		
	人権意識の高揚と安心できる生徒集団の育成	⑥情報発信（総務部）（学年部）	ホームページの更新や学校だより「尼寺原」（年６回、町内回覧）などの情報発信は、地域の人への情報提供として十分なものとなっていると思いますか。	ホームページの更新や学校だより「尼寺原」（年６回、町内回覧）などの情報発信は、学校からの情報を得るものとして十分なものになっていると思いますか。	ホームページの更新や学校だより「尼寺原」（年６回、町内回覧）などの情報発信は、地域の人への情報提供として十分なものとなっていると思いますか。	93	65	87	81	84	84	A 88	A 77	■ホームページの更新を適宜行い、教育活動の様子や必要な情報を提供できた。（総務部） ■学校通信「尼寺原」を計画的に発行することができ、地域の人々への情報発信ができた。（総務部） ■フェイスブックやインスタグラムによる魅力化の発信はオープンスクール参加者や本校志願者の増加につながったと考える。（教育研究部） ○ホームページ上の古いデータの更新を進めていく。（総務部） ○生徒会等がSNSを活用し、保護者や中学生に対して情報発信をする。（学年部）	A	⑥情報発信について ・様々な方法により、情報発信に努めている。 ・生徒会がSNS等を利用して情報発信することはとても良い。その生徒も伸びていくし、愛校心も深まる。 ⑧教育の魅力化について ○隠岐ジオパーク探求 ・継続的に取組み、確実に実績を積んできていることへ敬意を表す。しかし、そのことが地元の住民や小中学生に理解されているか？隠岐高校の魅力として子どもたちの「あこがれ」につながっているか？今一度確認してほしい。 ・地域の資源を知る活動として、探求学習は有益な学習である。また、自ら課題を見つけ解決策を考える行為も、社会に出てから役に立つ学習である。 ○放課後先生 ・地域と連携した取組も素晴らしい活動である。 ・素晴らしい企画であり、そこで学んだ生徒が教員を志望したり、対応してくれた高校生に小学生があこがれを抱く等、正に見本のような取組みだと高く評価する。もっと内外にアピールすべきである。 ⑧教育の魅力化・⑨地域と連携した信頼される学校づくり ・高い評価を得ている。 ○その他 ・隠岐高校を応援したい住民やOBは沢山いる。その人たちの気持ちをどう動かすかが大きな課題であり、これが動くと予想以上にエキサイティングな活動につながる。みんなで知恵を絞ろう。
		⑦保護者との連携（総務部）（生徒指導部）（学年部）	学校行事やＰＴＡ活動の案内、奨学金制度、学校保健に関することなどは、保護者と学校との連携として十分なものとなっていると思いますか。		学校行事やＰＴＡ活動の案内、奨学金制度、学校保健に関することなどは、保護者と学校との連携として十分なものとなっていると思いますか。	80	92			80	77	A 80	A 85	■今年度は従来どおり高Ｐ連大会（全国、中四国）にも参加した。また、ＰＴＡ小委員会も開催した。直前の感染状況拡大により計画していた尼寺原祭のＰＴＡ模擬店は実施できなかったが、校内ロードレース大会では給水補助員やレース後のかき水配布を行った。以上のことから学校行事への保護者の参加や協力は昨年に比べ良くなったと考える。（総務部） ■奨学金制度の案内も適宜行った。（総務部） ○来年度は新型コロナウィルスの感染症法上の分類の変更等により、学校行事やＰＴＡ活動も実施できるのではないかと考える。（総務部） ○奨学金制度の案内を今年度と同様にホームページに掲載する。生徒の当事者意識を高め、保護者との連携を図る。 ■「保健だより」の定期的な発行や、健康診断結果等を通して情報提供を行った。（生徒指導部） ○入試に必用な費用・その時期等を保護者面談等を通して周知する。（学年部）	A	
		⑧教育の魅力化（教育研究部）	隠岐ジオパーク研究（地域課題解決型学習）や隠岐ジオパーク研究発表会（２年）、３年ジオパーク探究の活動（ビーチクリーンなど）は、魅力ある教育活動になっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究（地域課題解決型学習）や隠岐ジオパーク研究発表会（２年）、３年ジオパーク探究の活動（ビーチクリーンなど）は、魅力ある教育活動になっていますか。	隠岐ジオパーク研究（地域課題解決型学習）や隠岐ジオパーク研究発表会（２年）、３年ジオパーク探究の活動（ビーチクリーンなど）は、魅力ある教育活動になっていると思いますか。	89	72	81	85	91	88	A 89	A 82	■継続して高評価を得ている。 ○効果の低い教育活動は見直し、効果の高い教育活動に力を入れる。		
		⑨地域と連携した信頼される学校づくり（教育研究部）	隠岐ジオパーク研究（地域課題解決型学習）や地域ボランティア（個人、部活動）への参加、有木小学校への学習支援（放課後先生）などの地域と関わる活動は、地域に開かれた学校づくりにつながっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究（地域課題解決型学習）や地域ボランティア（個人、部活動）への参加、有木小学校への学習支援（放課後先生）などにより、地域との関わりが深まっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究（地域課題解決型学習）や地域ボランティア（個人、部活動）への参加、有木小学校への学習支援（放課後先生）などの地域と関わる活動は、地域に開かれた学校づくりにつながっていると思いますか。	88	88	89	92	93	91	A 90	A 90	■継続して高評価を得ている。 ○地域のニーズに応える活動を継続して行う。		
		⑩基本的生活習慣・道徳教育（生徒指導部）	教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっていると思いますか。	教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっていますか。	教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、お子様の基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっていると思いますか。	63	75	82	89	86	83	A 77	A 82	■生徒が安心・安全な学校生活を送るために様々な取り組みを行ったが、全体的に昨年度より評価が低い（教職員の評価が著しく低い）。指導が、基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身につくものとなっていないと考える。 ○取り組み内容や方法について意見を聞きながら、来年度に生かす。 ■今年度は服装頭髪の違反が目立ったが、適宜指導し改善している。 ○校則を守るという当たり前のことをきちんと指導していく必要がある。 ■スマホの使用については「ルールをきちんと守る」という意識欠如の生徒が多くみられる。 ○昨今校則の見直しが進む中、本校でも生徒を交えた意見交換が必要であると考える。	A	⑩基本的生活習慣・道徳教育について ・いつの世でも生徒の意識と教師の見方にギャップがあると感じる。 ・基本的な生活習慣や生活態度については、今後社会に出ていく上で非常に大切なことであり、しっかりとが身につくよう指導してほしい。 ・決まりを守ることは当たり前のことである。家庭と連携して取り組んでほしい。 ⑪人権意識について ・引き続き良好な人間関係構築と自尊感情育成につながる人権教育と教職員一人一人が人権を意識した教育活動を行ってほしい。 ⑪人権意識・⑫生徒理解・教育相談について ・「⑥進路実現」と深い関係にある。そのために「⑧教育の魅力化」「⑨地域と連携した信頼される学校づくり」で得られる内容が大事になる。隠岐には人権を尊重した歴史があることを学習できれば、郷土愛がさらに深まる。また自分の人生の１つの目標にもなる。ひいては、隠岐で人生を送りたいという生徒が増えていく。必然的に「⑭学校満足度」は上がっていく。 ○その他 ・意識が高くなるほど「まだできる」と感じ、評価が低くなることもある。
		⑪人権意識（生徒指導部）	人権教育ホームルーム（年３回）や講演会（年１回）は、人権尊重の自覚を深め、あらゆる差別に対する正しい認識を育てるものとなっていると思いますか。	人権教育ホームルーム（年３回）や講演会（年１回）は、人権尊重の自覚を深め、あらゆる差別に対する正しい認識が身に付くものとなっていますか。	人権教育ホームルーム（年３回）や講演会（年１回）は、お子様の人権尊重の自覚を深め、あらゆる差別に対する正しい認識を育てるものとなっていると思いますか。	92	88	86	91	87	90	A 88	A 90	■ＨＲ活動や人権教育講演会等で人権に配慮した言動が生徒の中に育ってきているが、周囲への配慮を欠く言動もあり、適宜全体指導を行った。 ○良好な人間関係構築と自尊感情育成につながる人権教育を行う。 ○教職員一人一人が人権を意識した教育活動を行う。		
		⑫生徒理解・教育相談（学年部）（生徒指導部）	「いじめに関するアンケート」（年３回）や生徒面談（およそ学期に２回）、スクールカウンセラー事業などは、生徒一人一人を理解・支援するものとなっていると思いますか。	「いじめに関するアンケート」（年３回）や生徒面談（およそ学期に２回）、スクールカウンセラー事業などは、生徒一人一人を理解・支援するものとなっていますか。	「いじめに関するアンケート」（年３回）や生徒面談（およそ学期に２回）、スクールカウンセラー事業などは、お子様を理解・支援するものとなっていると思いますか。	93	92	87	91	85	86	A 88	A 90	■「いじめアンケート」・教育相談委員会・担任との面談や日々の観察等により、支援や配慮を必要とする生徒や困り感を持つ生徒の把握に努め、全体で共有した。（生徒指導部） ○教員に直接相談できない生徒にとってアンケートは有効であると考えるが、アンケート結果のみに頼ることなく、悩みや困り感を気軽に相談できる体制をつくる。（生徒指導部） ■学期に１回の生徒面談を実施し、生徒理解に努めた。（学年部） ○生徒の主体性を育むような言葉がけ、関わり合いを行う。（学年部）		
		⑬新型コロナウイルス感染防止対策（生徒指導部）	検温、マスクの着用、手洗い、消毒、換気などにより感染防止対策が徹底していると思いますか。	検温、マスクの着用、手洗い、消毒、換気などにより感染防止対策が徹底していますか。	検温、マスクの着用、手洗い、消毒、換気などによりお子様の感染防止意識が高まっていると思いますか。	93	81	90	91	88	90	A 90	A 87	■マスク着用や換気・黙食等の感染防止対策の啓発活動を継続して行った。 ○県の方針に従い感染防止対策を継続して行いたい。		
		⑭学校満足度（教頭）		学習活動や部活動、資格取得、良好な人間関係の構築、規範意識の育成、進路実現など様々な面において、隠岐高校へ進学してよかったと思いますか。	学習活動や部活動、資格取得、良好な人間関係の構築、規範意識の育成、進路実現など様々な面において、お子様を隠岐高校へ進学させてよかったと思いますか。			89	89	93	93	A 91	A 91	■生徒保護者ともに高評価である。 ○地域資源を活用し、特色ある学校づくりに努める。		
	学校全体で取り組む働き方改革の推進	⑮意識改革（教頭）	管理職、各分掌長、主任のリーダーシップのもとで業務の効率化が図られ、時間短縮の意識につながっていると思いますか。			63	42					B ’63	C ’42	■時間外勤務が減少し、時短意識も高まりつつある。 ○同僚性を高め、「チーム隠岐高」の一員として協働し、互いに支え合う教員集団に努める。	B	⑮教職員の意識改革について ・必ずしも「働き方改革」＝「時間短縮」ではない。生徒との信頼関係を築き各活動が楽しいからこそよりよく時短の工夫も生まれる。また、今持っている仕事の要・不要も見えやすくなる。いずれも教育の本質から見えてくる。 ・時短＝働き方改革ではない。いかに働き甲斐のある職場にするかが1番である。 ・教師を目指す生徒にとって希望が持てる職場となるよう、引き続き取り組んでほしい。 ⑮教職員の意識改革・⑯環境整備について ・教職員の働き方改革の推進について良い変化が見られる。 ・意識改革について、昨年度より改善されているようであるが、働きやすい環境づくりに引き続き取り組んでほしい。
		⑯環境整備（教頭）	休暇の取得、校舎・寮の施設設備の改善（ＬＥＤ化、特別教室のエアコン、舎監用ユニットバスなど）、職場環境の美化（整理整頓・毎日の清掃など）により働きやすい職場になっていると思いますか。			89	58					A 89	C 58	■施設設備の改善や環境美化の取組が進み、働きやすい環境になりつつある。 ○多忙感の解消に努め、教職員のワーク・ライフ・バランスの実現を図る。		